

# フローメンテナンスの手法と作業手順

## 剥離作業（1回／1～3年 実施）

作業手順1	剥離剤に指示されている希釈倍率にしたがって、計量カップで剥離剤量をはかり取り、剥離液を準備します。	ポイント①	養生テープおよび養生シートを使って境目をガードします。（隣接部分への流れ込み防止、剥離液の飛散防止、什器への染み込み防止）
作業手順2	剥離液を床面にむらなく塗った後、数分放置してから、剥離用パッドをポリッシャーに装着して剥離します。剥離液は、1㎡あたり150～200mLを目安に塗り広げます。	ポイント②	剥離液を塗布した後は、非常に滑りやすくなります。作業前に滑りにくい靴や滑り止め具を準備して装着しておきます。
作業手順3	スクイジーとウエットバキュームで汚水を回収し、自動床洗浄機で清水洗浄した後、床面の残水を拭きあげて乾燥します。	注意事項	フローリング床の剥離は要注意です。フローリングの継ぎ目から剥離液が染み込むとフローリング床のそり、われ、膨らみなどが発生する場合があります。

## ポリッシュの塗布（剥離作業後、定期清掃後 実施）

作業手順1	塗布用タンクにフローアポリッシュ液を注ぎ込み、塗布用モップにフローアポリッシュ液を含ませ、たれ落ちない程度に軽くモップを絞ってから、使用します。	ポイント	巾木から5cm離れたところから、フローアポリッシュの塗布を始めます。必要に応じて最後の1回で巾木から5cm内側も塗布します。
作業手順2	1回あたりの塗布量は、1㎡あたり10～20mLを目安に均一に塗り広げます。	注意事項	容器から取り出したフローアポリッシュは、大気中のほこりやバイ菌が入り込み、腐りやすくなっているため、元の容器に戻さないで廃棄してください。
作業手順3	1回目の塗布が干がに乾いたところで、2回目を塗布します。一連の塗布作業では、フローアポリッシュを2～3回塗布します。		

## 日常清掃（毎日 実施）

作業手順1	土砂取りマットの上面とマット下の土砂を真空掃除機を用いて除去します。	ポイント	土砂取りマットが汚れていたり、土砂でいっぱいになっていると土砂取り効果が発揮されません。こまめにマット清掃を行い、マットを最大限活用しましょう。
作業手順2	ダストモップ、自在ぼうきなどで床面のゴミを除去します。		
作業手順3	自動床洗浄機の清水タンクに洗浄剤を準備して洗浄します。自動床洗浄機が使用できない場合は、モップによる水拭きで汚れを除去します。	注意事項	床面の汚れの85%以上は、外部（屋外）からの土砂等の持込によって発生していると考えられています。したがって、土砂取りマットの清掃は、重要になります。

## 定期清掃（1回／1～6ヶ月 実施）

作業手順1	表面洗剤に指示されている希釈倍率にしたがって、計量カップで洗剤量をはかり取り、洗剤液を準備します。	ポイント	ウエットバキューム（自動床洗浄機も同じ）の汚水回収率は90%以上ウエットバキュームを有効活用することで作業スピードがアップします。
作業手順2	洗剤液を床面にむらなく塗った後、数分放置してから、適切な洗浄パッドを選択してポリッシャーで洗浄します。洗剤液は、1㎡あたり50～100mLを目安に塗り広げます。	注意事項	洗剤をアルミボトルやペットボトルに小分けして保管するとボトルが溶けて液漏れや容器が破裂することがあります。洗剤は、専用ボトルで保管してください。
作業手順3	スクイジーとウエットバキュームで汚水を回収してから、必要に応じて自動床洗浄機で清水洗浄した後、床面の残水を拭きあげて乾燥します。		

定期清掃により落ちない汚れが目立つ、床面全体の黒ずみが目立つ場合

繰り返す